**各施設看護管理者への「新型コロナウィルス感染症」に伴う調査**

**愛媛県看護連盟**

　自由記載内容

人的資源管理　　　　　感染対策マニュアル　　　　減収

【病　院：49】

・感染指定病院でない。受け入れとなった場合大幅なベッド削減が必要。そうなると地域の中核病院としての機能が果たせなくなる

・妊婦が通常の産前休暇まで勤務しないといけない状況（看護師不足にため？）。どのよう

に支援したらよいか。

・外来・入院患者数減少による経営困難

・医療従事者全員に、抗原・抗体検査が受けられる体制の整備を要望。

・実習制限がある学校への支援も必要

・軽症患者の受け入れで大変なので、重症患者の受け入れ対応施設に頭が下がる。

・外来・入院患者の減少。訪問リハビリ、介護利用者の減少

・新型コロナウィルスの感染症患者の受け入れ病院ではないが、そうなったときの対応を気軽に聞ける環境またはマニュアル等の準備が欲しい

・県をまたいで行動した看護職の2週間の出勤停止した時の勤務表作成に苦慮。

・今回を通じて、普段標準予防策が不十分だったが感染管理行動を意識しするようになり、標準予防策の徹底が図れた。

・地域の方々からの労いの言葉を頂き、スタッフと共有した。

・今回のことで、豪雨災害時の感染対策の課題が見えてきた。

・妊婦が感染予防のために規定より早く産前休暇に入り看護師不足があった。

・宿泊療養施設に出向した後の看護師の長期休暇により、部署運営に苦慮した。

・新型コロナウィルスの感染症疑いの患者に対して1対1の看護の負担。

・外来患者数減少による経営悪化。

・関連施設も含め感染者が出た場合の人員配置。

・外来・入院患者の減少

・患者数の減少に伴う経営への影響

・医療職に対する風評被害。外部からだけでなく、院内からも新型コロナウィルスの感染症患者に対応しているスタッフに対して心無い対応をすることに苦慮

・新型コロナウィルスの感染症患者の担当になることへの協力が得られない。スタッフの家族が否定することもあり苦慮。

・病院の経営状態悪化による今後の方向性を考慮した対応が求められている。

・今回のことにより、今までにない他部署との結束力が生まれつつある。

・患者数減少に伴い経営悪化。経営状況や業務量を鑑みながらも先が見えない状況に苦慮。

・感染病棟が無い中で、PCR検査結果を待つ患者の入院に対応し試行錯誤であった。

・感染用具不足により再利用の安全性への疑問を持ちつつ使用するジレンマ。

・感染病棟がないのに、「一般病院」の対応を保健所から言われ、新型コロナウィルスの感染症患者の対応に苦慮した。このような中で、入院患者・スタッフをどのように守るか

情報に振り回されながら病院として対応した。

・PCR検査が松山で行われるため結果がでるまでタイムラグがあり、それまで陽性患者と同じ対応のためマンパワー不足。

・面会の方たちへの検温や聞き取りが負担（看護師たちが主に実施するため）

・病院独自の「危険手当」を病院にお願いしてあるが、今のところ承認されていない。

・流行地域を訪問した職員を待機させた。感染の有無について不安であった。

・感染者が出た施設や病院がどのように乗り越えたか教えてほしい。

【訪問看護ステーション：5】

・マスクの支給はあったが、アルコール類の不足で困った。

【介護福祉施設：6】

・入所者への感染対策、職員への感染対策等を徹底した。通所リハビリの減少で収入減がある。

・施設看護師の意見を聞いてくれる場がなかったので、このように聞いてもらえてありがたかった。

・入所中の方は高齢で、認知症のかたもいる。認知症の方への厳重な感染対策は難しく

そのため、看護師のストレスが大きい。

・地域で患者が発生した場合のマニュアルはできている。が、クラスター発生は免れないと思う。（野村病院併設つくし苑）

・医療資源不足があるが、経営の問題もあり思うように購入できない。